

1 観光ビッグデータとは

観光客（潜在的に観光を行う観光客を含む。以下同じ）の観光行動を反映する大規模・多種・複数情報源由来のデータ群をさす。

このデータの解析から、これまで限定的にしか分からなかった観光の現象や行動原理等を、統合的に解析し、観光行動をマクロ的な視点、ミクロ的な視点の両面で把握することが期待される。

2 観光ビッグデータを構成する各種データ

- ・観光に係る消費や施設利用等を反映するデータ
（例）来場者・施設利用者数、事業者の売上げ、行政のオープンデータ 等
- ・観光行動及びそれに影響を及ぼす情報や事物、サービス等に関するデータ
（例）広告等への反応、情報サービス・アプリ等の利用実績、提示情報に対する反応 等
旅行代理店、広告代理店等の保有するデータ、アプリサービス事業者等の情報 等
- ・移動や滞在（立ち寄り、宿泊等）等を反映するデータ
（例）交通量、宿泊統計 等
- ・個々の観光行動を反映するデータ
（例）携帯電話の位置情報、プローブカー情報、ETC利用記録 等
携帯電話事業者や自動車会社、道路会社等の統計データ 等
- ・観光に対する意識を反映するデータ
（例）観光関連検索ログ、コンテンツへのアクセスログ、投稿コンテンツ、コンテンツへの評価 等
Twitter等のSNS、Google等の検索サイト、ウェブサイト等でのログ 等

3 観光ビッグデータの活用の基本的な考え方

- ・旅行前、旅行中、旅行後に発生するビッグデータを、これらの観光行動のサイクルに沿って活用
- ・観光振興施策等に対する効果を測定し、観光振興の有効性の検証について即時的かつ有用な知見を獲得
- ・旅行中の興味や要望と、商品・サービスのマッチングによる高質な旅行の実現を期待

4 世界に通用する魅力ある観光地域づくりに向けて

- ・ビッグデータに基づくニーズや地域の課題を把握し、魅力的な観光地域づくりを一層進めるべきである。
そのため、個人情報及びプライバシー保護へ配慮した、観光ビッグデータ活用の方法論を検討するとともに、その際、関係する民間事業者等の幅広い意見も反映するべきである。
- ・訪日外国人旅行客誘致の観点からの、国内外における利活用の事例の収集・検討を推進するべきである。